

★ヘンリー-ルシャトリエの法則

- 一定温度で、溶解度がある、大きい、小さい、気体について成立。
- 溶解する気体の量 (mol) は、
 - その気体の分圧
 - 溶媒量
 とは比例する。

$$\boxed{\begin{array}{l} \text{溶解する} \\ \text{気体の量} \\ \text{(mol)} \end{array}} = \boxed{\begin{array}{l} \text{mol に換算して} \\ \text{溶解度} \\ \text{(mol/10}^5\text{Pa}\cdot\text{l)} \end{array}} \times \underbrace{\frac{\text{その気体の分圧 (Pa)}}{10^5}}_{\text{条件と比べ}} \times \underbrace{\frac{\text{溶媒量}}{1}}_{\text{何倍の数値に等しいかを代入}}$$

① 向 0°C , $1.0 \times 10^5 \text{ Pa}$ の酸素は、水 1 l に 5.9 ml 溶ける。

0°C , $4.0 \times 10^5 \text{ Pa}$ の酸素が水 10 l に接して、溶ける酸素の物質量は、何 mol か？

② 答
$$\boxed{\quad} = \frac{5.9 \times 10^{-3}}{22.4} \times \frac{4.0 \times 10^5}{10^5} \times \frac{10}{1}$$

$= 0.0872$